

2017年11月の邦人犯罪被害事例

在フランス日本大使館領事部

11月中に大使館領事部に届けられた邦人の犯罪被害件数は24件で、2017の合計は、計370件となりました。

今月のコメント！

◎電車内や駅構内において、スリやひったくりの被害が多発しています。常に自分は狙われている可能性があるとの自覚を持って、貴重品の管理に十分注意してください。

◎渡航にあたっては、外務省海外旅行登録「たびレジ」への登録をお勧めします。

【2017年11月の被害届分析表】

○被害手口	当該月	累計
強盗	1	7
ひったくり	2	22
スリ	15	224
置引き	6	105
車上狙い	0	9
侵入盗(空き巣等)	0	1
偽警察官	0	1
その他の手口・不明	0	1
合計	24	370

○事件発生時間帯	当該月	累計
0時台～5時台	0	7
6時台～9時台	0	28
10時台～13時台	7	89
14時台～17時台	7	112
18時台～21時台	7	95
22時台～23時台	0	21
不明	3	18
合計	24	370

○事件発生曜日	当該月	累計
月曜日	2	47
火曜日	0	42
水曜日	7	49
木曜日	6	50
金曜日	4	52
土曜日	3	66
日曜日	2	62
不明	0	2
合計	24	370

○平日・休日の別	当該月	累計
平日	17	224
週末・祝祭日	7	144
不明	0	2
合計	24	370

○発生場所	当該月	累計
○パリ市内及び近郊		
地下鉄車内・駅構内	10	102
RERのB線	3	17
上記以外の電車・駅構内	0	2
凱旋門・シャンゼリゼ通り界限	1	27
エッフェル塔界限	0	20
オペラ座界限	3	51
ルーブル・オルセー美術館界限	2	12
上記地区以外のレストラン・カフェ	0	13
上記地区以外のホテル	0	7
上記地区以外の路上	2	35
その他の場所・不明	1	33
○パリ市とその近郊以外		
電車・駅等交通機関	2	20
レストラン・カフェ等	0	7
ホテル	0	1
路上	0	16
その他の場所・不明	0	7
合計	24	370

○性別区分	当該月	累計
男性	16	208
女性	8	162
合計	24	370

○年齢	当該月	累計
20歳未満	0	15
20歳代	7	90
30歳代	5	65
40歳代	2	51
50歳代	5	69
60歳代	7	51
70歳以上	1	24
不明	0	5
合計	24	370

○月別発生件数(2017年)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
29	36	42	30	33	39	46	30	26	35	24	0	370

【11月の被害例】

1. ルーブル美術館付近にて女性5人グループに署名を求められた。振り払ったが、気づいたらショルダーバッグ内から貴重品が盗まれていた。(男性旅行者)
2. 北駅にて、混雑の中、気づいたら足元に置いていたバッグが盗まれていた。(男性出張者)
3. サン・ミッシェル・ノートルダム駅構内でベルサイユ行きの切符を買おうと売り場を探していた際、駅員になりすました男に誘導され、販売機で財布を出し入れした後に急にぶつかられた。その後財布を出そうとしたところ、盗まれていたことに気づいた。(女性旅行者)
4. TGV車内の頭上棚網にカバンを置いていたところ、気づいたら置き引きされていた。(男性出張者)
5. CDG空港からRERB線でパリ市内に向かう際、駅で電車が停車中、座席横に置いていたビジネスバッグを若い男にひったくられた。(男性出張者)
6. 9区のホテル前でレンタカーを駐車した際、複数人からタイヤのパンクを指摘された。ホテルのスタッフに手伝ってタイヤを替えようとしていた際、バッグを車内に残したまま降車していた。気づいたら、車内からバッグが盗まれていた。(男性出張者)
7. 車両にて高速道路A1からサンドニに出たところの信号を待っている際、後部左側の窓ガラスを割られ、バッグを強奪された。(女性出張者)
8. サントノーレ通りを歩行中、いつの間にかバッグのチャックを開けられ、貴重品を盗まれていた。(男性旅行者)
9. ギャラリーラファイエット0階の靴売り場付近で買い物中、バッグを床に置いていたところ、気づいたら盗まれていた。(女性旅行者)
10. 地下鉄8号線に乗車している際、大変混雑しており、数人の男からぶつかられた。気づいたら、身につけていたはずのショルダーバッグがなくなっていた。(男性旅行者)